



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

# 校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

20号

令和2年10月22日

六ツ美西部小学校長  
山本 則夫

## 子供たちの思い出をなくさない

### ～第24回運動会を終えて～

10月21日 快晴、中学年の「六西よっちょれ」で第24回運動会は幕を開けました。背中を文字通り、天を翔るような一糸乱れぬ力強い舞でした。そして、次のバトンは低学年へと繋がりました。ノリノリでかわいい「六西 前向きスクリーム」に観客は自然と笑顔になりました。最後のアンカーは、高学年です。雲一つない青空に黄色とブルーのパラソルが色鮮やかに咲き乱れました。練習の度に傘が壊れ、毎晩担任が傘職人と化し、修理している姿が思い出されます。その甲斐あり、本番は風もなく気持ちよく「Everything for Smile」を笑顔で踊ることができました。

本年度の運動会は、コロナ禍の影響で、学校によっては、運動会を中止したり、体育の授業参観として表現運動を公開したり、様々な対応がとられました。本校では、学区との共同開催は諦め、規模は縮小しましたが、学年全体の演技やリレーは例年通り行いました。雨天延期のため平日開催となりましたが、多くの保護者の方にご来校いただき、子供たちの輝く姿をお見せすることができました。

本年度は、運動会などの行事だけでなく、授業、部活動、PTA 活動等の教育活動は大きく変化しました。3密回避、マスク、消毒、my 箸・スプーン…。今後、これらは、新しい学校教育のスタンダードになるかもしれません。

学校生活において、子供の安全を最優先することは言うまでもありません。特に行事については様々な制約があり、心配される声も耳にします。しかし、**学校行事は、授業と同様、子供たちを大きく成長させます。**本年度は、コロナの影響で、多くの施設が校外学習等の受け入れを中止しました。校外へ出かけることができなければ、安全対策をした上で、学校へ講師を呼べばよいのです。**簡単に諦めるのではなく、私たち大人が知恵を出し、子供たちのかけがえのない思い出をなくさないようにしなければなりません。**

運動会を終え、爽やかな笑顔で下校する子供たちを見て、ひとまわり大きくなったような気がしました。観覧のルールを守って応援していただいた保護者の皆様、運動会前に草を刈り、環境整備をしていただいた老人クラブの皆様、少ない練習時間でこれだけの運動会を作り上げてくれた職員に心から感謝します。



【低学年：六西 前向きスクリーム】



【中学年：六西よっちょれ】



【高学年：Everything for Smile】